

要介護状態からの回復を支援

アクトスが運動デイサービス

転倒防止、認知症予防エクササイズ

バローホールディングスの子会社で会員制スポーツクラブを展開するアクトス（本部・可児市、清水俊宏社長）は、既存店舗を活用した運動特化型デイサービス事業に乗り出す。「スポーツクラブアクトスウィーG瀬戸菱野」（愛知県瀬戸市）の店内に今月1日、約200万円を投じてデイサービス「アクトスリ・バースジム瀬戸菱野」を開業し、本格運用を来年1月ごろから始める。利用者に運動指導を行い、要支援・要介護状態からの回復を支援する。（山本貴史）

瀬戸市の店内に開設

新たに備品や消防設備などを新設したものの、既存店のスペースやトレーニングマシンを活用することで初期投資を抑えた。

デイサービスはウィーG内の約65平方メートルのエリアで展開。自転車エルゴメ

ーターといったトレーニングマシンを設置したほか、静養室や相談室などのデイ

サービスに必要な設備も備える。介護予防運動指導員や健康運動指導士らが、歩行機能の維持向上、転倒防止、認知症予防を目的としたグループエクササイズや

運動プログラムを提供する。木曜、日曜を除いた午後1時～同4時30分に開設し、1日当たりの定員は20人。開設時以外の時間帯はウィーGのエリアにする。

12月中に利用体験を通じてサービスをPRする。担当者は「デイサービスで1日を過ごすのではなく、健康な状態に戻って日常生活を送りたいと思う高齢者向けの事業。今後の状況を見て他店舗への展開を決めていきたい」と話す。



災害協定の締結式に臨んだ田代正美社長（右）と鳴海宏樹会長（左）
多治見市音羽町、中之郷テラス